

いいやまの



このコーナーは市内の「今、ここが見どころ!!」を紹介するコーナーです。新幹線で訪れた観光客や帰省されたご親類の方々にお伝えいただくのはもちろん、市民の皆さんにも、もう一度飯山の素晴らしいところに気づいていただく情報をお伝えしていきます。

第3回

巨木と巨石に囲まれた神秘の場所 小菅神社奥社

1月に「小菅の里及び小菅山の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定された小菅集落。集落の東にある三の鳥居から約1.2kmの参道を1時間程度かけて歩くと小菅神社の奥社が見えてきます。



戸隠、飯綱とともに北信濃三大修験霊場の一つに数えられる小菅神社。参道約800mの区間には180本ほどの杉の大木が並木を作っていて、この時期はとても気持ちの良い空間になります。また、上杉謙信が武田軍の追手から身を隠したという「隠れ石」や弘法大師が参拝の折りに休憩したとされる「御座石」などさまざまな伝説の残る多くの名石が点在しています。

歴史のロマンに触れられるパワースポットでの散策はいかがでしょうか。

※高低差のある山道で急傾斜な場所もありますので運動靴などでお出かけください。また、クマやカモシカの生息する場所ですのでクマ避けの鈴やラジオをご持参ください。

お問い合わせは
市民学習支援課 文化財係(飯山市民館内) ☎62-3342 まで



わが家の人気者

山崎美咲 ちゃん
みさき

飯山地区
2歳5か月
No.351

妹の多恵(たえ)ちゃん

「このコーナーに出てみませんか?」
「わが家の人気者」に登場していただける? 3歳くらいのお子さんとお母さんまたはお父さんを見つけています。市役所庶務課秘書広報係までご連絡を! (☎311-内線337)

お散歩に行くとお花や葉っぱを摘んだり、石を拾ったりして、集めたものでケーキを作って遊んでいます。
最近、「ついでのぼり」の歌を歌えるようになりました。
好きなことはお姫さまごっこです。食べ物野菜・漬物お菓子が好きです。
内気なところもありますが、女の子らしい可愛らしさとおしゃべりでみんなを楽しませてくれる山崎家のアイドルです。(隆寛さん、ゆかりさんの長女)

美術館情報

企画展「Beyond the paper やまふところ 和紙 齋藤一郎展」
ワークショップ参加者の作品を展示しています

4月に開催したワークショップ『泥(ドローイング)』では、土の絵具で内山紙に色を塗って遊びました。



右側がワークショップ作品

後日、参加者の作品を齋藤一郎さんが自身の作品も合わせてコラージュし、1つの作品として完成させました。コラージュは齋藤さんの作品制作において重きをなす作業のひとつで、全く個性の異なる作品がひとつに仕上げられたこの『大作』は、齋藤さんの手によって土の力強さ・色の豊富さ・内山紙との共和が嬉々とした表情を見せています。

美術館ロビーに展示していますのでぜひ、ご覧ください。
【会期】6月28日(日)まで
【開館】9:00~17:00(入館は16:30まで)
【休館日】毎週月曜日
【入館料】大人300円、市内の小中学生は無料
【問合先】飯山市美術館 ☎62-1501

編集後記

「飯山の市役所の者です。これからどちらかに帰りになられるのですか?」と飯山駅で声をかけて約1カ月半、100組目のインタビューが終了し、市民の皆さんに駅を利用する方々の声をお届けするに至りました。▼私は人見知りな人が苦手です。知らない方を見かけるのが苦手です。買い物のお店の人が何か聞いたりすることもできれば避けたいと思うほどです。▼でも、市民の皆さん、特に普段、駅を利用されない方々の「新幹線の駅はできたもののお客さんは来ているのか?」という疑問に答えられたら...との思いで今回の特集を企画しました。▼記事を見て、どこから、どのような世代の方が、何をしに、そして信越自然郷エリアにどんな印象を持ったのかを市民の皆さんに知っていただければ、私も苦労した甲斐があったと思えます。小野沢